

|   |  |  |      |    |        |        |
|---|--|--|------|----|--------|--------|
| 明星大学と多摩（前期）                               | 自立と体験1<br>(大学生活の基盤をつくる)  | 単位   | 曜日   | 時限 | 教員名    | 時間割コード |
|   |  | 2  | 複数開講 |    |        |        |
|   | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。  | 教育目標<br>この授業の教育目標は、「明星大学に学ぶ学生としての自己理解を助け、各自の理想や目的を明確にしていくこと」です。明星大学の教育目標は「自己実現を目指し社会貢献ができる人の育成」(自分の夢の実現に向けて努力し、他の人のために役に立つことのできる人を育てること)ですので、この授業を通して自分の理想や目的を明確にしなが、社会貢献への道筋を探してください。 |      |    |        |        |
|   | 学部・学科指定  | 時間割とシラバス参照   |      |    |        |        |
|   | 多摩を歩く  | 単位   | 曜日   | 時限 | 教員名    | 時間割コード |
|   |  | 2  | 木    | 1  | 高橋 珠州彦 | 120401 |
|   | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。  | 教育目標<br>多摩を実際に歩くことにより、必要な基礎的且つ幅広い教養を現地で活かし、総合的な思考力と適格な判断力を養う。大学が所在する多摩を共通のフィールドとすることで、実践的かつ体験的に知識技能の修得を目指す。地形図読図や景観観察の専門的技術・技能を現場で応用し、教養を社会に役立てる姿勢を持つ。                                 |      |    |        |        |
|   | 学部・学科指定  |  |      |    |        |        |
|   | 多摩と自然  | 単位   | 曜日   | 時限 | 教員名    | 時間割コード |
|   |  | 2  | 木    | 2  | 高橋 珠州彦 | 120500 |
| 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。 | 教育目標<br>明星大学が位置する多摩について、自然の諸条件を基盤に考察していく。社会を支える幅広い教養として多摩地域を多角的に理解することは、グローバルな思考に基づく社会貢献の基礎として重要である。この目標に向け、多摩における自然条件や自然現象の理解にとどまらず、それらを基盤として産業や生活文化が成り立っていることを理解することを目標とする。  |  |      |    |        |        |
| 学部・学科指定                                   |  |  |      |    |        |        |
| 情報の活用とコミュニケーション（前期）                       | 情報の活用と倫理   | 単位   | 曜日   | 時限 | 教員名    | 時間割コード |
|   |  | 2  | 複数開講 |    |        |        |
|   | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。  | 教育目標<br>この授業では、情報を活用する上での情報倫理(モラル)や、情報機器及び情報通信ネットワークの機能など基本的知識や能力を習得する。また、情報を適切に収集・加工・表現するまでの基礎的な技能や知識を学習する。   |      |    |        |        |
|   | 学部・学科指定  | 時間割とシラバス参照   |      |    |        |        |
|   | 英語1A   | 単位   | 曜日   | 時限 | 教員名    | 時間割コード |
|   | 1  | 複数開講   |      |    |        |        |
| 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。 | 教育目標<br>この科目は、明星大学の学位授与方針、「グローバルな思考に基づく社会貢献」及び「社会を支える幅広い教養」に関連している。具体的な教育目標は(1)多文化・多言語共生社会に求められる教養としての外国語や文化に関する広い知識を身につける、(2)専門基礎としての英語知識と技術を伸ばす、(3)バランスの取れた実践的英語能力の伸長を目指す、(4)「英語学習時間の確保」および「自学自習できる学習態度」の習慣作り、である。 |  |      |    |        |        |
| 学部・学科指定                                   | 時間割とシラバス参照   |  |      |    |        |        |

|   |   |  |  |            |      |        |        |  |
|---|---|--|--|------------|------|--------|--------|--|
| 情報<br>の<br>活<br>用<br>と<br>コ<br>ミ<br>ュ<br>ニ<br>ケ<br>ー<br>シ<br>ョ<br>ン<br>(<br>前<br>期<br>) | 英語1B                                      |  | 単位   | 曜日         | 時限   | 教員名    | 時間割コード |  |
|   |   |  | 1  |            | 複数開講 |        |        |  |
|   | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。 |  | 教育目標   |            |      |        |        |  |
|   |   |  | The goal of this course is to develop basic English oral and aural communication skills in a wide variety of real world situations, emphasizing natural speech and vocabulary development.このコースでは、現実の様々な場面における英語での基本的なコミュニケーション能力の向上を目標とする。特に自然な会話と単語力の上達を目指す。 |            |      |        |        |  |
|   |   |  | 学部・学科指定  | 時間割とシラバス参照 |      |        |        |  |
|   | ドイツ語1A                                    |  | 単位   | 曜日         | 時限   | 教員名    | 時間割コード |  |
|   |   |  | 1  |            | 複数開講 |        |        |  |
|   | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。 |  | 教育目標   |            |      |        |        |  |
|   |   |  | 未修の言語を習得し、コミュニケーション能力を高める。自分の考えを相手に伝える。独和辞典を繰り返し引く。文法を理解し、音声を聞いて繰り返し文章を声に出して読んでみる。練習問題を解くことで、文法への理解を深める。ドイツ語を1B・2Bの教科書も参考にしながら、繰り返し教科書の内容を理解する。(知識・理解・表現)多文化・多言語社会で生きていくための柔軟な姿勢と幅広い教養を身につける。(思考・判断)   |            |      |        |        |  |
|   |   |  | 学部・学科指定  | 時間割とシラバス参照 |      |        |        |  |
|   | ドイツ語1B                                    |  | 単位   | 曜日         | 時限   | 教員名    | 時間割コード |  |
|   |   |  | 1  |            | 複数開講 |        |        |  |
|   | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。 |  | 教育目標   |            |      |        |        |  |
|   |   |  | 未修の言語を習得し、コミュニケーション能力を高める。独和辞典を繰り返し引く。文法を理解し、音声を聞いて繰り返し文章を声に出して読んでみる。練習問題を解くことで、文法への理解を深め、応用力を養う。ドイツ語1Aの教科書も参考にしながら、繰り返し演習や実践練習を行い、表現力を高める(知識・理解・表現)多文化・多言語社会で生きていくための柔軟な姿勢と幅広い教養を身につける。(思考・判断)  |            |      |        |        |  |
|   |   |  | 学部・学科指定  | 時間割とシラバス参照 |      |        |        |  |
|   | フランス語1A                                   |  | 単位   | 曜日         | 時限   | 教員名    | 時間割コード |  |
|   |   |  | 1  |            | 複数開講 |        |        |  |
|   | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。 |  | 教育目標   |            |      |        |        |  |
|   |   |  | 全くの初心者を対象とし、基本的な発音、文法、語彙をひとつおさえながら、フランス語でコミュニケーションする基礎的な能力を身につけることを目標とします。一年間地道に努力すれば、大学生が実生活で必要とする基本的なことがフランス語を使ってできるようになります。「すべてを完璧に」というよりも、「大まかに、大胆に、積極的に」という姿勢で取り組みましょう。(技術・技能)  |            |      |        |        |  |
|   |   |  | 学部・学科指定  | 時間割とシラバス参照 |      |        |        |  |
| フランス語1B   |   | 単位   | 曜日   | 時限         | 教員名  | 時間割コード |        |  |
|   |   | 1  |  | 複数開講       |      |        |        |  |
| 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。   |   | 教育目標   |  |            |      |        |        |  |
|   |   | 語学＋フランス文化。初級フランス語の勉強に加えて、フランスの文化を視聴覚教材等を用いて、広く親しみやすく紹介します。初心者を対象とし、基本的な発音、文法、語彙をひとつおさえながら、フランス語でコミュニケーションする基礎的な能力を身につけることを目標とします。一年間地道に努力すれば、大学生が実生活で必要とする基本的なことがフランス語を使ってできるようになります。(技術・技能) |  |            |      |        |        |  |
|   |   | 学部・学科指定  | 時間割とシラバス参照   |            |      |        |        |  |

|   |   |  |            |     |        |        |  |
|---|---|--|------------|-----|--------|--------|--|
| 情報<br>の<br>活<br>用<br>と<br>コ<br>ミ<br>ュ<br>ニ<br>ケ<br>ー<br>シ<br>ョ<br>ン<br>(<br>前<br>期<br>)   | 中国語1A   | 単位   | 曜日         | 時限  | 教員名    | 時間割コード |  |
|   |   | 1  | 複数開講       |     |        |        |  |
|   | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。   | 教育目標   |            |     |        |        |  |
|   |   | 1. 中国語初級レベルのコミュニケーション能力を養い、文法事項を理解する。 2. 中国の文化や社会に対する理解を深める。 3. 中国語の学びを通して、日本語の特徴を知ることができる。 * 本学の「学位授与方針」である、「国際化に対応する幅広い視野と多様性を受け入れる創造的思考力及び判断力を習得して、地域社会の発展に寄与しながら、国際社会の発展にも貢献することができる」力を養うことを目指しています。 * この授業は、中国語の発声練習や初級文法事項の定着に重きをおいて進めます。中国語1B/2Bと共に履修することにより、1年後には正確な発音と基本的な語彙を身につけ、簡単な中国語を話すことができるでしょう。        |            |     |        |        |  |
|   |   | 学部・学科指定  | 時間割とシラバス参照 |     |        |        |  |
|   | 中国語1B   | 単位   | 曜日         | 時限  | 教員名    | 時間割コード |  |
|   |   | 1  | 複数開講       |     |        |        |  |
|   | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。   | 教育目標   |            |     |        |        |  |
|   |   | 1. 中国語初級レベルのコミュニケーション能力を養い、文法事項を理解する。 2. 中国の文化や社会に対する理解を深める。 3. 中国語の学びを通して、日本語の特徴を知ることができる。 * 本学の「学位授与方針」である「国際化に対応する幅広い視野と多様性を受け入れる創造的思考力及び判断力を習得して、地域社会の発展に寄与しながら、国際社会の発展にも貢献することができる」力を養うことを目指しています。 * この授業は、中国語の発声練習や初級文法事項の定着に重きをおいて進めます。中国語1A/2Aと共に履修することにより、1年後には正確な発音と基本的な語彙を身につけ、簡単な中国語を読んだり話したりすることができるでしょう。 |            |     |        |        |  |
|   |   | 学部・学科指定  | 時間割とシラバス参照 |     |        |        |  |
|   | 韓国語1A   | 単位   | 曜日         | 時限  | 教員名    | 時間割コード |  |
|   |   | 1  | 複数開講       |     |        |        |  |
|   | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。   | 教育目標   |            |     |        |        |  |
|   |   | 1.日本に一番近い隣国である韓国のことばの基礎を習得します。(課題発見・解決) 2.聞く、話す、読む、書く、これら4技能の総合的学習を通して、コミュニケーション能力を養成し、幅広い教養を身につけます。(関心・意欲・態度) 3.実践的で体験的なことばの学びを通じて、国際化に対応する創造的思考力及び判断力を習得します。(思考・判断)  |            |     |        |        |  |
|   |   | 学部・学科指定  | 時間割とシラバス参照 |     |        |        |  |
|   | 韓国語1B   | 単位   | 曜日         | 時限  | 教員名    | 時間割コード |  |
|   |   | 1  | 複数開講       |     |        |        |  |
|   | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。   | 教育目標   |            |     |        |        |  |
| 1.日本に一番近い隣国である韓国のことばの基礎を習得します。(課題発見・解決) 2.聞く、話す、読む、書く、これら4技能の総合的学習を通して、コミュニケーション能力を養成し、幅広い教養を身につけます。(関心・意欲・態度) 3.実践的で体験的なことばの学びを通じて、国際化に対応する創造的思考力及び判断力を習得します。(思考・判断) |   |  |            |     |        |        |  |
| 学部・学科指定   |   | 時間割とシラバス参照   |            |     |        |        |  |
| スペイン語1A   | 単位  | 曜日   | 時限         | 教員名 | 時間割コード |        |  |
|   | 1   | 複数開講   |            |     |        |        |  |
| 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。   | 教育目標  |  |            |     |        |        |  |
|   | スペイン語を通して、自分とは異なる存在に目を向けることにより、多様化する社会に対応するための態度・教養を身につける。そして多角的な視野を持って物事を判断できる人格を育み、それを日本語でのみならず、外国語でも実践可能とするための言語能力基盤を作ることを目標とする。 |  |            |     |        |        |  |
|   | 学部・学科指定   | 時間割とシラバス参照   |            |     |        |        |  |

|                     |   |  |      |    |        |        |
|---------------------|---|--|------|----|--------|--------|
| 情報の活用とコミュニケーション（前期） | スペイン語1B                                   | 単位   | 曜日   | 時限 | 教員名    | 時間割コード |
|                     |   | 1  | 複数開講 |    |        |        |
| 科学的思考科目群（前期）        | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。 | 教育目標   |      |    |        |        |
|                     |   | 将来国際化に対応する幅広い視野と多様性を受け入れる創造的思考力及び判断力を修得して、地域社会の発展に寄与しながら、国際社会の発展にも貢献するために、まずは実生活に必要なスペイン語でのコミュニケーション能力向上を目指す。  |      |    |        |        |
|                     | 学部・学科指定                                   | 時間割とシラバス参照   |      |    |        |        |
|                     | 論理学A                                      | 単位   | 曜日   | 時限 | 教員名    | 時間割コード |
|                     |   | 2  | 火    | 2  | 佐々木 昭則 | 129201 |
|                     | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。 | 教育目標   |      |    |        |        |
|                     |   | 形式論理学の基本を勉強する。論理的な思考を形式的推論の観点から学んでいく。演繹的推論が主なテーマで、真理関数理論を中心に勉強していく。論理的思考力を、特に計算という視点から身につけてもらう。  |      |    |        |        |
|                     | 学部・学科指定                                   |  |      |    |        |        |
|                     | 論理学A                                      | 単位   | 曜日   | 時限 | 教員名    | 時間割コード |
|                     |   | 2  | 金    | 4  | 安藤 道夫  | 129202 |
|                     | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。 | 教育目標   |      |    |        |        |
|                     |   | 本講義では、以下の項目を目標とし、論理の基礎を学習する。 1. 接続表現の働きを知り、実際の文章の構造を理解できる。(知識、理解) 2. 論証という接続関係の仕組みを理解し、論証における思考の筋道を判断できる。(思考、判断) 3. 自らの意見の正しさを第三者に立証するために、正しい根拠を正しい方法で相手に伝えることができる。(技能、表現) |      |    |        |        |
|                     | 学部・学科指定                                   |  |      |    |        |        |
|                     | 生命と自然の倫理A                                 | 単位   | 曜日   | 時限 | 教員名    | 時間割コード |
|                     |   | 2  | 火    | 3  | 佐々木 昭則 | 129400 |
|                     | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。 | 教育目標   |      |    |        |        |
|                     |   | 現代の主要なテーマの一つである、生命倫理学を学んでいく。適宜新聞記事などを紹介しながら、問題意識を高めていきたい。倫理学がわれわれの生活や人生と深く関わっていることを体感してもらいたい。もちろん、自然科学などの予備知識はいらない。医療が人の生き方と深く関わっていることを一緒に勉強していきたい。                        |      |    |        |        |
|                     | 学部・学科指定                                   |  |      |    |        |        |
|                     | 統計学A                                      | 単位   | 曜日   | 時限 | 教員名    | 時間割コード |
|                     |   | 2  | 金    | 4  | 塚田 真一  | 129601 |
|                     | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。 | 教育目標   |      |    |        |        |
|                     |   | 統計学の本質をできる限り平易に解説し、色々な統計データを自分自身で正しく判断・分析できるようになることを目標とする。   |      |    |        |        |
|                     | 学部・学科指定                                   | 21H/F/E/B/P/Z/J  |      |    |        |        |

|   |   |   |         |        |        |        |  |
|---|---|---|---------|--------|--------|--------|--|
| 科学的思考科目群<br>(前期)                          | 統計学A  | 単位  | 曜日      | 時限     | 教員名    | 時間割コード |  |
|   |   | 2   | 水       | 2      | 塚田 真一  | 129602 |  |
|   | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。   | 教育目標  |         |        |        |        |  |
|   |   | 統計学の本質をできる限り平易に解説し、色々な統計データを自分自身で正しく判断・分析できるようになることを目標とする。            |         |        |        |        |  |
|   |   | 学部・学科指定   | 21S/T/A |        |        |        |  |
|   | 自然科学A   | 単位  | 曜日      | 時限     | 教員名    | 時間割コード |  |
|   |   | 2   | 火       | 1      | 五十嵐 正敏 | 129801 |  |
|   | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。   | 教育目標  |         |        |        |        |  |
|   |   | 自然科学の入門者が、自然科学の発展の歴史の学習を通して、自然科学の全体像を理解し、科学的見方、考え方の基礎を身につけることを目標とします。 |         |        |        |        |  |
|   |   | 学部・学科指定   |         |        |        |        |  |
|   | 自然科学A   | 単位  | 曜日      | 時限     | 教員名    | 時間割コード |  |
|   |   | 2   | 木       | 1      | 五十嵐 正敏 | 129802 |  |
| 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。 | 教育目標  |   |         |        |        |        |  |
|   | 自然科学の入門者が、自然科学の発展の歴史の学習を通して、自然科学の全体像を理解し、科学的見方、考え方の基礎を身につけることを目標とします。   |   |         |        |        |        |  |
|   | 学部・学科指定   |   |         |        |        |        |  |
| 自然科学A                                     | 単位  | 曜日  | 時限      | 教員名    | 時間割コード |        |  |
|   | 2   | 火   | 1       | 清水 文直  | 129803 |        |  |
| 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。 | 教育目標  |   |         |        |        |        |  |
|   | 1. すべての物質は原子からなることを理解できる。(知識・理解・表現) 2. ボーアが提唱した水素原子の構造を理解できる。(思考・判断) 3. 電子の持つエネルギーが飛び飛びの値を取ることを理解できる。(関心・意欲・態度) |   |         |        |        |        |  |
|   | 学部・学科指定   |   |         |        |        |        |  |
| 自然科学A                                     | 単位  | 曜日  | 時限      | 教員名    | 時間割コード |        |  |
|   | 2   | 木   | 1       | 佐々木 秀明 | 129804 |        |  |
| 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。 | 教育目標  |   |         |        |        |        |  |
|   | 科学技術の発展に伴って環境汚染が生じていることを説明することができる。また、水環境汚染と大気汚染の現状とその対策を説明できる。(知識・理解・表現)                                       |   |         |        |        |        |  |
|   | 学部・学科指定   |   |         |        |        |        |  |

|  |   |  |    |       |        |        |  |
|--|---|--|----|-------|--------|--------|--|
| 科学的思考科目群<br>(前期)   | 数学A   | 単位   | 曜日 | 時限    | 教員名    | 時間割コード |  |
|  |   | 2  | 月  | 2     | 天野 通大  | 130002 |  |
|  | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。   | 教育目標   |    |       |        |        |  |
|  |   | 微分法および積分法の基礎理論を理解し、具体的な計算法を学ぶ。簡単な計算から応用問題までを、自力で確実に解けるようになることを目標とする。(自然と科学を理解する) |    |       |        |        |  |
|  |   | 学部・学科指定  |    |       |        |        |  |
|  | 数学A   | 単位   | 曜日 | 時限    | 教員名    | 時間割コード |  |
|  |   | 2  | 水  | 2     | 未定     | 130003 |  |
|  | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。   | 教育目標   |    |       |        |        |  |
|  |   | 関数と微分、積分に関する用語の概念や性質などの基礎を理解し、具体的に計算することができるようになることを目標とする。                       |    |       |        |        |  |
|  |   | 学部・学科指定  |    |       |        |        |  |
|  | 数学A   | 単位   | 曜日 | 時限    | 教員名    | 時間割コード |  |
|  |   | 2  | 水  | 3     | 未定     | 130005 |  |
|  | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。   | 教育目標   |    |       |        |        |  |
|  |   | 関数と微分、積分に関する用語の概念や性質などの基礎を理解し、具体的に計算することができるようになることを目標とする。                       |    |       |        |        |  |
|  |   | 学部・学科指定  |    |       |        |        |  |
|  | 数学A   | 単位   | 曜日 | 時限    | 教員名    | 時間割コード |  |
|  |   | 2  | 水  | 4     | 未定     | 130006 |  |
|  | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。   | 教育目標   |    |       |        |        |  |
| 関数と微分、積分に関する用語の概念や性質などの基礎を理解し、具体的に計算することができるようになることを目標とする。 |   |  |    |       |        |        |  |
| 学部・学科指定  |   |  |    |       |        |        |  |
| 物理学A   | 単位  | 曜日   | 時限 | 教員名   | 時間割コード |        |  |
|  | 2   | 月  | 4  | 齋藤 政則 | 130201 |        |  |
| 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。                  | 教育目標  |  |    |       |        |        |  |
|  | 物理学とは自然界の様々な現象を量的に捉え、法則等数学的に表現し物質の本質を理解しようとするものである。授業では、各種現象の解説の他に、多くの例題を提示・解答・解説する。これにより、「物理」は身近なものであることを感じてほしい。 |  |    |       |        |        |  |
|  | 学部・学科指定   |  |    |       |        |        |  |

|   |   |   |    |        |        |        |  |
|---|---|---|----|--------|--------|--------|--|
| 科学的思考科目群<br>(前期)                          | 物理学A  | 単位  | 曜日 | 時限     | 教員名    | 時間割コード |  |
|   |   | 2   | 金  | 5      | 清水 文直  | 130202 |  |
|   | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。   | 教育目標  |    |        |        |        |  |
|   |   | 1. 物理量および単位を理解することができる。(知識・理解・表現) 2. 力のつり合い、力の合成と分解について説明できる。(思考・判断) 3. ニュートンの運動の法則を説明することができる。(知識・理解・表現) |    |        |        |        |  |
|   |   | 学部・学科指定   |    |        |        |        |  |
|   | 物理学A  | 単位  | 曜日 | 時限     | 教員名    | 時間割コード |  |
|   |   | 2   | 火  | 5      | 清水 文直  | 130203 |  |
|   | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。   | 教育目標  |    |        |        |        |  |
|   |   | 1. 物理量および単位を理解することができる。(知識・理解・表現) 2. 力のつり合い、力の合成と分解について説明できる。(思考・判断) 3. ニュートンの運動の法則を説明することができる。(知識・理解・表現) |    |        |        |        |  |
|   |   | 学部・学科指定   |    |        |        |        |  |
|   | 化学A   | 単位  | 曜日 | 時限     | 教員名    | 時間割コード |  |
|   |   | 2   | 金  | 4      | 佐々木 秀明 | 130401 |  |
|   | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。   | 教育目標  |    |        |        |        |  |
|   |   | 物質は原子と分子から成り立っていることを説明することができる。(知識・理解・表現)   |    |        |        |        |  |
|   |   | 学部・学科指定   |    |        |        |        |  |
|   | 化学A   | 単位  | 曜日 | 時限     | 教員名    | 時間割コード |  |
|   |   | 2   | 土  | 2      | 中村 克己  | 130402 |  |
|   | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。   | 教育目標  |    |        |        |        |  |
| 日常の現象を化学的視点で捉える                           |   |   |    |        |        |        |  |
| 学部・学科指定                                   |   |   |    |        |        |        |  |
| 化学A                                       | 単位  | 曜日  | 時限 | 教員名    | 時間割コード |        |  |
|   | 2   | 木   | 2  | 五十嵐 正敏 | 130403 |        |  |
| 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。 | 教育目標  |   |    |        |        |        |  |
|   | 理科系科目を専門としない学生を対象に、この世の中の物質が、原子、分子、イオンといったものの集合体であること理解し、このことに基づいて私たちの身のまわりの物質の性質や反応を説明できるようになることを目標とします。 |   |    |        |        |        |  |
|   | 学部・学科指定   |   |    |        |        |        |  |

科学的思考科目群（前期）

|   |   |    |    |       |        |
|---|---|----|----|-------|--------|
| 地球惑星学A                                    | 単位  | 曜日 | 時限 | 教員名   | 時間割コード |
|   | 2   | 火  | 2  | 石川 正弘 | 130601 |
| 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。 | 教育目標  |    |    |       |        |
|   | 本講義の教育目標は地球科学の以下の分野について学び理解することである。 1:「地球表層、マントル、コアのダイナミクス」すなわち「プレートテクトニクス理論」と「プルームテクトニクス理論」の概要と原理を興味関心を持って学び理解し、論じることができる(知識、理解、思考、関心、態度、意欲)。 2:「地震と活断層」と「火山噴火のメカニズム」の概要と原理を興味関心を持って学び理解し、論じることができる(知識、理解、思考、関心、態度、意欲)。 講義内容は最新の研究成果及び話題を織り交ぜ解説、論じる。 |    |    |       |        |
|   | 学部・学科指定   |    |    |       |        |
| 地球惑星学A                                    | 単位  | 曜日 | 時限 | 教員名   | 時間割コード |
|   | 2   | 火  | 3  | 石川 正弘 | 130602 |
| 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。 | 教育目標  |    |    |       |        |
|   | 本講義の教育目標は地球科学の以下の分野について学び理解することである。 1:「地球表層、マントル、コアのダイナミクス」すなわち「プレートテクトニクス理論」と「プルームテクトニクス理論」の概要と原理を興味関心を持って学び理解し、論じることができる(知識、理解、思考、関心、態度、意欲)。 2:「地震と活断層」と「火山噴火のメカニズム」の概要と原理を興味関心を持って学び理解し、論じることができる(知識、理解、思考、関心、態度、意欲)。 講義内容は最新の研究成果及び話題を織り交ぜ解説、論じる。 |    |    |       |        |
|   | 学部・学科指定   |    |    |       |        |
| 地球惑星学B                                    | 単位  | 曜日 | 時限 | 教員名   | 時間割コード |
|   | 2   | 火  | 4  | 石川 正弘 | 130701 |
| 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。 | 教育目標  |    |    |       |        |
|   | 本講義は「宇宙の誕生と歴史」と「地球史」について学ぶ。とくに地球誕生から46億年かけて形成した気圏、水圏、地圏、生物圏における物質、エネルギー循環とその相互作用について学び、地球を一つのシステムとして捉え、地球環境の変動メカニズムについての概要と原理を興味関心を持って学び理解することにある(知識、理解、思考、関心)。講義内容は最新の研究成果を織り交ぜ解説、論じる(関心、態度、意欲)。   |    |    |       |        |
|   | 学部・学科指定   |    |    |       |        |
| 地球惑星学B                                    | 単位  | 曜日 | 時限 | 教員名   | 時間割コード |
|   | 2   | 火  | 5  | 石川 正弘 | 130702 |
| 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。 | 教育目標  |    |    |       |        |
|   | 本講義は「宇宙の誕生と歴史」と「地球史」について学ぶ。とくに地球誕生から46億年かけて形成した気圏、水圏、地圏、生物圏における物質、エネルギー循環とその相互作用について学び、地球を一つのシステムとして捉え、地球環境の変動メカニズムについての概要と原理を興味関心を持って学び理解することにある(知識、理解、思考、関心)。講義内容は最新の研究成果を織り交ぜ解説、論じる(関心、態度、意欲)。   |    |    |       |        |
|   | 学部・学科指定   |    |    |       |        |
| 生物学A                                      | 単位  | 曜日 | 時限 | 教員名   | 時間割コード |
|   | 2   | 月  | 1  | 齋藤 政則 | 130901 |
| 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。 | 教育目標  |    |    |       |        |
|   | ヒトが生きていく仕組みを様々な器官とその機能を通して体系的に理解する。また、生物体の成り立ち等を通し地球上の一生物であるヒトについて考えていく。  |    |    |       |        |
|   | 学部・学科指定   |    |    |       |        |

|   |  |   |    |        |        |        |
|---|--|---|----|--------|--------|--------|
| 科学的<br>思考<br>科目<br>群<br>(前期)              | 生物学A   | 単位  | 曜日 | 時限     | 教員名    | 時間割コード |
|   |  | 2   | 月  | 2      | 齋藤 政則  | 130902 |
|   | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。  | 教育目標  |    |        |        |        |
|   |  | ヒトが生きていく仕組みを様々な器官とその機能を通して体系的に理解する。また、生物体の成り立ち等を通して地球上の一生物であるヒトについて考えていく。   |    |        |        |        |
|   | 学部・学科指定  |   |    |        |        |        |
|   | 生物学A   | 単位  | 曜日 | 時限     | 教員名    | 時間割コード |
|   |  | 2   | 月  | 2      | 佐々木 秀明 | 130903 |
|   | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。  | 教育目標  |    |        |        |        |
|   |  | あらゆる生物は基本単位である細胞から成り立っていることを説明することができる。また、生命現象は連続性を持っていることを説明できる。(知識・理解・表現) |    |        |        |        |
|   | 学部・学科指定  |   |    |        |        |        |
| 生物学A                                      | 単位   | 曜日  | 時限 | 教員名    | 時間割コード |        |
|   | 2  | 月   | 1  | 佐々木 秀明 | 130904 |        |
| 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。 | 教育目標   |   |    |        |        |        |
|   | あらゆる生物は基本単位である細胞から成り立っていることを説明することができる。また、生命現象は連続性を持っていることを説明できる。(知識・理解・表現)  |   |    |        |        |        |
| 学部・学科指定                                   |  |   |    |        |        |        |
| 科学技術論A                                    | 単位   | 曜日  | 時限 | 教員名    | 時間割コード |        |
|   | 2  | 月   | 2  | 清水 文直  | 131201 |        |
| 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。 | 教育目標   |   |    |        |        |        |
|   | 1. 電気の基本的な性質について理解できる。(知識・理解・表現) 2. われわれが使用している電気製品の定格電流および電圧について説明することができる。(思考・判断) 3. 直流電圧と交流電圧それぞれについて説明できる。(知識・理解・表現) |   |    |        |        |        |
| 学部・学科指定                                   |  |   |    |        |        |        |
| 科学技術論A                                    | 単位   | 曜日  | 時限 | 教員名    | 時間割コード |        |
|   | 2  | 木   | 2  | 清水 文直  | 131202 |        |
| 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。 | 教育目標   |   |    |        |        |        |
|   | 1. 電気の基本的な性質について理解できる。(知識・理解・表現) 2. われわれが使用している電気製品の定格電流および電圧について説明することができる。(思考・判断) 3. 直流電圧と交流電圧それぞれについて説明できる。(知識・理解・表現) |   |    |        |        |        |
| 学部・学科指定                                   |  |   |    |        |        |        |

|   |   |  |    |    |       |        |        |  |
|---|---|--|----|----|-------|--------|--------|--|
| 現代社会課題解決科目群<br>(前期)                       | 現代社会の仕組みA   |  | 単位 | 曜日 | 時限    | 教員名    | 時間割コード |  |
|   |   |  | 2  | 火  | 5     | 滝本 順子  | 131800 |  |
|   | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。   | 教育目標   |    |    |       |        |        |  |
|   |   | この科目は1年次全学共通科目です。全学共通科目のディプロマ・ポリシーである「社会の営みを理解する」ため、社会的なものの方見方を学び、性別役割分業、家族の変容、未婚化・晩婚化、少子化、高齢化といった今日の日本がかかえる社会問題について考察します。こうした考察を通じ、社会とはどのようなものなのか、社会の中でいかに暮らしていくのかということを考える想像力を身につけることができますようになります。 |    |    |       |        |        |  |
|   |   | 学部・学科指定  |    |    |       |        |        |  |
|   | 社会科学論A  |  | 単位 | 曜日 | 時限    | 教員名    | 時間割コード |  |
|   |   |  | 2  | 木  | 3     | 土野 瑞穂  | 132000 |  |
|   | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。   | 教育目標   |    |    |       |        |        |  |
|   |   | 「社会科学論A」では、人間の様々な営みを社会とのかかわりから考えます。特に社会学の領域で発達してきたジェンダー(女ノ男らしさ)とセクシュアリティ(性自認や性的指向などの「からだ性」にまつわるもの)の議論に焦点を当て、私たちの多様な性のあり様を社会的な視点から考察します。この授業では学位授与方針に従い、社会を支える幅広い教養を養うことを目指します。                       |    |    |       |        |        |  |
|   |   | 学部・学科指定  |    |    |       |        |        |  |
|   | 外国事情A(アジア)  |  | 単位 | 曜日 | 時限    | 教員名    | 時間割コード |  |
|   |   |  | 2  | 木  | 2     | 叢 小榕   | 132201 |  |
| 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。 | 教育目標  |  |    |    |       |        |        |  |
|   | 1. 中国社会の変遷と中国文化の伝統や変貌を知り、異文化理解を深め、複眼的な視点を持ち、人間や社会の問題について、客観的、総合的に思考することができる。(知識・理解)  2. 現代中国の現状を正しく把握したうえで、隣国の中国とどのように付き合っていけばよいかなど諸課題について、主体的かつ実践的にかかわることができること。(関心・意欲)                                      |  |    |    |       |        |        |  |
|   | 学部・学科指定   |  |    |    |       |        |        |  |
| 外国事情B(欧米)                                 |   | 単位   | 曜日 | 時限 | 教員名   | 時間割コード |        |  |
|   |   | 2  | 金  | 4  | 中野 隆基 | 132301 |        |  |
| 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。 | 教育目標  |  |    |    |       |        |        |  |
|   | ラテンアメリカ地域の多言語・多文化政策の事例について学ぶことを通して、国際化に対応する幅広い視野と多様性を受け入れるための創造的思考力及び判断力を修得し、地域社会と国際社会の発展に寄与するための批判的な視座を獲得することを目標とする。   |  |    |    |       |        |        |  |
|   | 学部・学科指定   |  |    |    |       |        |        |  |
| 現代政治A                                     |   | 単位   | 曜日 | 時限 | 教員名   | 時間割コード |        |  |
|   |   | 2  | 水  | 4  | 土野 瑞穂 | 132400 |        |  |
| 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。 | 教育目標  |  |    |    |       |        |        |  |
|   | 政治というと「国会」や「選挙」などを思い浮かべるかもしれませんが、政治の定義はそれだけではありません。この授業では、政治を「社会における諸集団のあいだの対立や利害関係(力関係)」と捉えます。そして様々なトピックをジェンダーの視点から分析することで、そのトピックをめぐってどのような政治が展開されているかをみていきます。この授業では「明星大学の学位授与方針」に従い、社会を支える幅広い教養を養うことを目指します。 |  |    |    |       |        |        |  |
|   | 学部・学科指定   |  |    |    |       |        |        |  |

|   |   |  |    |        |        |        |  |
|---|---|--|----|--------|--------|--------|--|
| 現代社会課題解決科目群（前期）                           | 国際関係論A  | 単位   | 曜日 | 時限     | 教員名    | 時間割コード |  |
|   |   | 2  | 木  | 2      | 土野 瑞穂  | 132600 |  |
|   | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。   | 教育目標   |    |        |        |        |  |
|   |   | 国際関係論は、国際社会における国家や人々の集団・組織の相互関係を分析する学問です。この授業では、①国際関係をどう捉えるか(理論)、②私たちが生きる21世紀の国際社会の課題は何か(課題)、③国際関係と私たちの日々の暮らしはどのように関係しているのか(実践)、という視点から、国際関係を考えます。この授業では「明星大学の学位授与方針」に従い、グローバルな思考に基づく社会貢献が可能となるような知識を養うことを目指します。 |    |        |        |        |  |
|   |   | 学部・学科指定  |    |        |        |        |  |
|   | 現代社会と平和   | 単位   | 曜日 | 時限     | 教員名    | 時間割コード |  |
|   |   | 2  | 金  | 2      | 下記参照   | 132800 |  |
|   | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。   | 教育目標   |    |        |        |        |  |
|   |   | 全学共通教育の学修目標： 1. 世界に貢献する人として必要な基礎的且つ幅広い教養を身に付ける。 2. 総合的な思考力と的確な判断力を土台として、自立し、世界の人々と共生できる人となる。 3. 自ら積極的に学び考える、自己教育能力を持つ人となる。   |    |        |        |        |  |
|   |   | 毛利聡子、加藤めぐみ、熊本博之、竹峰 誠一郎、土野瑞穂の5名で担当する。   |    |        |        |        |  |
|   | 法学A   | 単位   | 曜日 | 時限     | 教員名    | 時間割コード |  |
|   |   | 2  | 水  | 2      | 齋藤 和夫  | 132901 |  |
| 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。 | 教育目標  |  |    |        |        |        |  |
|   | 中学公民の知識を前提として講義を進める。 法の名称と制定者を理解しよう。 わたしたちの生活において、法によって規律されている部分とそうでない部分とを検証しよう。 日本の司法制度を理解しよう。   |  |    |        |        |        |  |
|   | 学部・学科指定   |  |    |        |        |        |  |
| 法学A                                       | 単位  | 曜日   | 時限 | 教員名    | 時間割コード |        |  |
|   | 2   | 水  | 5  | 臼井 雅子  | 132902 |        |  |
| 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。 | 教育目標  |  |    |        |        |        |  |
|   | 法学Aでは、現代日本社会で採用されているさまざまな法分野の基礎について学び、各法分野が社会の中で果たす役割や効果を、講義されている内容とともに自分でも考えてゆくことを目的とする。また、徐々に今ある法制度で、日本社会の問題を解決するのに十分であるかどうかを考えるよう、指導してゆく。 各法分野を紹介しつつ、公務員試験やその他の資格試験でよく出題される、法学の基礎的知識も合わせて説明し、そうした試験をめざす人への予備知識を与えることもめざしている。 |  |    |        |        |        |  |
|   | 学部・学科指定   |  |    |        |        |        |  |
| 法学A                                       | 単位  | 曜日   | 時限 | 教員名    | 時間割コード |        |  |
|   | 2   | 月  | 1  | 小中 さつき | 132903 |        |  |
| 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。 | 教育目標  |  |    |        |        |        |  |
|   | 我が国の基本的な法制度、裁判制度を理解し、自分の言葉で説明することができる(知識、理解、表現)。 法的な考え方(リーガルマインド)を用いて社会的な問題を分析することができる(思考、判断、分析力)。 社会で起きている問題に興味を持ち、またその問題を法的観点からいかに解決すべきか自分なりの意見を提示することができる(関心、意欲、表現)。   |  |    |        |        |        |  |
|   | 学部・学科指定   |  |    |        |        |        |  |

|   |   |  |    |       |        |        |  |
|---|---|--|----|-------|--------|--------|--|
| 現代<br>社会<br>課題<br>解決<br>科目<br>群<br>(前期)   | 法学A   | 単位   | 曜日 | 時限    | 教員名    | 時間割コード |  |
|   |   | 2  | 月  | 2     | 小中 さつき | 132904 |  |
|   | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。   | 教育目標   |    |       |        |        |  |
|   |   | 我が国の基本的な法制度、裁判制度を理解し、自分の言葉で説明することができる(知識、理解、表現)。  法律的な考え方(リーガルマインド)を用いて社会的な問題を分析することができる(思考、判断、分析力)。  社会で起きている問題に興味を持ち、またその問題を法的観点からいかに解決すべきか自分なりの意見を提示することができる(関心、意欲、表現)。 |    |       |        |        |  |
|   | 学部・学科指定   |  |    |       |        |        |  |
|   | 法学A   | 単位   | 曜日 | 時限    | 教員名    | 時間割コード |  |
|   |   | 2  | 水  | 3     | 齋藤 和夫  | 132905 |  |
|   | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。   | 教育目標   |    |       |        |        |  |
|   |   | ・中学公民の知識を前提として講義を進める。  法には「憲法」「法律」「政令」「規則」などの呼び名があり、誰が制定したかによって呼び名が決まっている。法の呼称と制定者との関係を理解しよう。  わたしたちの生活において、法によって規律されている部分とそうでない部分とを検証しよう。  日本の司法制度を理解しよう。                 |    |       |        |        |  |
|   | 学部・学科指定   |  |    |       |        |        |  |
|   | 社会に生きる私たちの人権A   | 単位   | 曜日 | 時限    | 教員名    | 時間割コード |  |
|   |   | 2  | 木  | 4     | 武田 里子  | 133100 |  |
| 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。 | 教育目標  |  |    |       |        |        |  |
|   | 人権は私たちが自分らしく生きるための「一定の条件」を保障するものだが、自動的に与えられるものではない。私たちがいま享受している人権は、人びとがたたかいを通じて獲得してきたものである。授業では、身近な事例を通して人権概念を実社会で応用する力を養うとともに、私たち一人ひとりが人権概念をさらに豊かに発展させ、次世代に引き継ぐ担い手でもあることを理解する。 |  |    |       |        |        |  |
| 学部・学科指定                                   |   |  |    |       |        |        |  |
| 現代経済への視点A                                 | 単位  | 曜日   | 時限 | 教員名   | 時間割コード |        |  |
|   | 2   | 月  | 2  | 鈴木 時男 | 133301 |        |  |
| 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。 | 教育目標  |  |    |       |        |        |  |
|   | 1. 消費者ならびに生産者の「合理的行動」の仮定を検討した上で、理論的に最適な消費行動ならびに生産活動の内容を理解することができる。(知識・理解)2. このような行動が実生活での経験に一致する点と異なる点を考察することができる。(思考・判断)3. 現代経済の特徴や問題点に関して自分の考えを述べることができる。(関心・意欲・態度)           |  |    |       |        |        |  |
| 学部・学科指定                                   |   |  |    |       |        |        |  |
| 現代経済への視点A                                 | 単位  | 曜日   | 時限 | 教員名   | 時間割コード |        |  |
|   | 2   | 金  | 3  | 鈴木 時男 | 133302 |        |  |
| 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。 | 教育目標  |  |    |       |        |        |  |
|   | 1. 消費者ならびに生産者の「合理的行動」の仮定を検討した上で、理論的に最適な消費行動ならびに生産活動の内容を理解することができる。(知識・理解)2. このような行動が実生活での経験に一致する点と異なる点を考察することができる。(思考・判断)3. 現代経済の特徴や問題点に関して自分の考えを述べることができる。(関心・意欲・態度)           |  |    |       |        |        |  |
| 学部・学科指定                                   |   |  |    |       |        |        |  |

|   |   |  |    |       |        |        |  |
|---|---|--|----|-------|--------|--------|--|
| 現代<br>社会<br>課題<br>解決<br>科目<br>群<br>(前期)   | <b>グローバル時代の経営A</b>  | 単位   | 曜日 | 時限    | 教員名    | 時間割コード |  |
|   |   | 2  | 金  | 4     | 名取 修一  | 133500 |  |
|   | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。   | 教育目標   |    |       |        |        |  |
|   |   | グローバル時代の経営Aでは、企業とは何か、企業経営とは何かという基本的な知識を得たうえで、企業がかかわる市場との構造や関係性、それに影響をあたえうる環境との仕組みを学ぶと同時に、グローバル市場下で企業経営にもたらした変化の内容を探る考察力の修得を目標にします。企業活動における生産主体としての活動は、その構造的視点と行動的視点の統合において理解されなければなりません。本講義では、今日のグローバルな企業の展開をなしている現状を視野に置きながら企業経営の姿を学びます。                                |    |       |        |        |  |
|   |   | 学部・学科指定  |    |       |        |        |  |
|   | <b>ジェンダーを考えるA</b>   | 単位   | 曜日 | 時限    | 教員名    | 時間割コード |  |
|   |   | 2  | 木  | 5     | 武田 里子  | 133700 |  |
|   | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。   | 教育目標   |    |       |        |        |  |
|   |   | ジェンダー論とは性別が自分の生き方にどのような影響を与えるかを考えること。たとえば「女性は家事育児を」という価値観は「男性は仕事を」という価値観の裏返し。そうした規範を無批判に受け止めてしまうことが生きにくさの原因になることもある。この授業では、ジェンダー論の基礎理論をおさえた上で、家庭、労働、教育の場面においてみられる身近なジェンダー課題やバイアス(性別役割分担、男女の賃金格差、同性婚、性同一性障害等)について「当たり前」をうたがひ、個々人の私的な世界と、それを取り巻く環境的制度的構造とを複合的に捉える視野を獲得してゆく |    |       |        |        |  |
|   |   | 学部・学科指定  |    |       |        |        |  |
|   | <b>ボランティア論</b>  | 単位   | 曜日 | 時限    | 教員名    | 時間割コード |  |
|   |   | 2  | 金  | 1     | 枝見 太郎  | 133901 |  |
| 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。 | 教育目標  |  |    |       |        |        |  |
|   | ボランティアや市民活動に対する本質的な理解を深め、政府や行政だけでなく市民が主体的に社会に関わることの重要性を学びます。公共とは行政から与えられるものではなく、自らの責任を果たす自立した市民が支えるものであることを理論や事例で示します。人が真に豊かに暮らすためには金銭的価値だけではなく、社会から必要とされる「生き方」が重要であると理解することを目指します。 |  |    |       |        |        |  |
|   | 学部・学科指定   |  |    |       |        |        |  |
| <b>生涯学習論A</b>                             | 単位  | 曜日   | 時限 | 教員名   | 時間割コード |        |  |
|   | 2   | 月  | 3  | 神山 敬章 | 134001 |        |  |
| 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。 | 教育目標  |  |    |       |        |        |  |
|   | 今日の日本における生涯学習体系の中で、生涯学習及び社会教育のあり方について理論的・実践的な視点により本質を理解させることに努める。社会教育の歴史、生涯学習論の成立に伴い、生涯学習政策の背景など事例を入れて理解させる。  |  |    |       |        |        |  |
|   | 学部・学科指定   |  |    |       |        |        |  |
| <b>生涯学習論A</b>                             | 単位  | 曜日   | 時限 | 教員名   | 時間割コード |        |  |
|   | 2   | 月  | 5  | 神山 敬章 | 134002 |        |  |
| 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。 | 教育目標  |  |    |       |        |        |  |
|   | 今日の日本における生涯学習体系の中で、生涯学習及び社会教育のあり方について理論的・実践的な視点により本質を理解させることに努める。社会教育の歴史、生涯学習論の成立に伴い、生涯学習政策の背景など事例を入れて理解させる。  |  |    |       |        |        |  |
|   | 学部・学科指定   |  |    |       |        |        |  |

|   |  |  |    |        |        |        |  |
|---|--|--|----|--------|--------|--------|--|
| 現代<br>社会<br>課題<br>解決<br>科目<br>群<br>(前期)   | メディア論  | 単位   | 曜日 | 時限     | 教員名    | 時間割コード |  |
|   |  | 2  | 月  | 3      | 川崎 佳哉  | 134400 |  |
|   | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。  | 教育目標   |    |        |        |        |  |
|   |  | 私たちはメディアを何らかの情報を媒介するだけの「透明なもの」として捉えてしまいがちですが、それぞれのメディアには「物質性」があり、それこそが私たちの知覚や認識を規定していると考えられます。本講義では、私たちが自然なものとして受け入れてしまっているメディアの「透明性」の奥に「物質性」を探っていきます。身の回りに存在しているさまざまなメディアを取り上げ、それらを歴史的かつ理論的に捉え直すことによって、現在のメディア文化に批評的なまなざしを向けることが本講義の最終的な目標です(総合的な思考力と的確な判断力)。 |    |        |        |        |  |
|   | 学部・学科指定  |  |    |        |        |        |  |
|   | 図書館の基礎と展望  | 単位   | 曜日 | 時限     | 教員名    | 時間割コード |  |
|   |  | 2  | 水  | 5      | 二村 健   | 134501 |  |
|   | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。  | 教育目標   |    |        |        |        |  |
|   |  | 社会における図書館の意義について理解を図り、図書館の現状、機能、歴史、種類、利用者、職員、類縁機関との関係、今後の課題について解説します。加えて、ライブラリアンシップの錬成に基本をおきます。本科目は、全学共通教育科目であり、多様な価値観を受け入れることができる自立した市民に相応しい幅広い教養を修めることができます。同時に、司書資格取得を目指す人には必須科目です。   |    |        |        |        |  |
|   | 学部・学科指定  |  |    |        |        |        |  |
| 図書館の基礎と展望                                 | 単位   | 曜日   | 時限 | 教員名    | 時間割コード |        |  |
|   | 2  | 月  | 6  | 二村 健   | 134502 |        |  |
| 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。 | 教育目標   |  |    |        |        |        |  |
|   | 社会における図書館の意義について理解を図り、図書館の現状、機能、歴史、種類、利用者、職員、類縁機関との関係、今後の課題について解説します。加えて、ライブラリアンシップの錬成に基本をおきます。本科目は、全学共通教育科目であり、多様な価値観を受け入れることができる自立した市民に相応しい幅広い教養を修めることができます。同時に、司書資格取得を目指す人には必須科目です。 |  |    |        |        |        |  |
| 学部・学科指定                                   |  |  |    |        |        |        |  |
| 哲学A                                       | 単位   | 曜日   | 時限 | 教員名    | 時間割コード |        |  |
|   | 2  | 月  | 4  | 浜野 喬士  | 135000 |        |  |
| 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。 | 教育目標   |  |    |        |        |        |  |
|   | ・哲学を学ぶことを通じて、広い視野から課題を分析し、現代社会の問題を把握する視座を身につける。総合的な思考力と的確な判断力を身につける。世界に貢献する人として必要な基礎的且つ幅広い教養を身につける。(知識・理解)(思考・判断)  |  |    |        |        |        |  |
| 学部・学科指定                                   |  |  |    |        |        |        |  |
| 倫理学A                                      | 単位   | 曜日   | 時限 | 教員名    | 時間割コード |        |  |
|   | 2  | 火  | 1  | 佐々木 昭則 | 135200 |        |  |
| 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。 | 教育目標   |  |    |        |        |        |  |
|   | 倫理学の基本を習得してもらおう。現代の倫理的問題を一緒に考えていきたい。倫理学が、単なる机上の空論ではなく、現代の生活や社会の基盤にあることを納得してもらいたい。適宜新聞記事などを紹介し、時事問題の一つとして、倫理学を見直してもらいたい。  |  |    |        |        |        |  |
| 学部・学科指定                                   |  |  |    |        |        |        |  |

人文  
知  
探  
求  
科  
目  
群  
(前期)

|   |  |  |    |    |       |        |        |  |
|---|--|--|----|----|-------|--------|--------|--|
| 人文知探求科目群<br>(前期)                          | 宗教学A   |  | 単位 | 曜日 | 時限    | 教員名    | 時間割コード |  |
|   |  |  | 2  | 金  | 4     | 林 伸一郎  | 135400 |  |
|   | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。  | 教育目標   |    |    |       |        |        |  |
|   |  | 本講は、現代社会に生きるものとして必要不可欠な基本知識の一つとしての「宗教」を取り上げ(関心・意欲・態度)、その起源・歴史的展開を追いながら(知識・理解・表現)、人間や社会に対する洞察を深めることを目的とするものである。(思考・判断)  |    |    |       |        |        |  |
|   |  | 学部・学科指定  |    |    |       |        |        |  |
|   | 考古学A   |  | 単位 | 曜日 | 時限    | 教員名    | 時間割コード |  |
|   |  |  | 2  | 水  | 1     | 林 徹    | 135700 |  |
|   | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。  | 教育目標   |    |    |       |        |        |  |
|   |  | 日本の先史文化を題材とし、考古学の基礎的な考え方を学ぶ。また先史人類の生活と文化の変遷を概観することで、人間と環境の深い関わりについて理解することを目標とする。さらに、祖先(過去)とその末裔である自己(現在)の関連を意識することで、人間の本来のありかたを考察し、未来への指針とする。  |    |    |       |        |        |  |
|   |  | 学部・学科指定  |    |    |       |        |        |  |
|   | 日本史A(前近代)  |  | 単位 | 曜日 | 時限    | 教員名    | 時間割コード |  |
|   |  |  | 2  | 水  | 1     | 小林 一岳  | 135901 |  |
|   | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。  | 教育目標   |    |    |       |        |        |  |
|   |  | 全学共通科目の教育目的である、世界に貢献する人として必要な基礎的且つ幅広い教養を身に付ける、に関する科目です(知識・理解)。最近中学・高校の歴史教育では、国際関係・国際交流が重視されるようになってきました。もう日本の歴史を日本列島だけで考えることはできません(思考・判断)。この授業では「アジアの中の日本史」というテーマで講義を行い、日本とそれを取り巻く国際社会について古代～中世を中心に歴史的に考えることにします。 |    |    |       |        |        |  |
|   |  | 学部・学科指定  |    |    |       |        |        |  |
|   | 日本史A(前近代)  |  | 単位 | 曜日 | 時限    | 教員名    | 時間割コード |  |
| 2   |  |  | 水  | 5  | 小林 一岳 | 135902 |        |  |
| 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。 | 教育目標   |  |    |    |       |        |        |  |
|   | 全学共通科目の教育目的である、世界に貢献する人として必要な基礎的且つ幅広い教養を身に付ける、に関する科目です(知識・理解)。最近中学・高校の歴史教育では、国際関係・国際交流が重視されるようになってきました。もう日本の歴史を日本列島だけで考えることはできません(思考・判断)。この授業では「アジアの中の日本史」というテーマで講義を行い、日本とそれを取り巻く国際社会について古代～中世を中心に歴史的に考えることにします。 |  |    |    |       |        |        |  |
|   | 学部・学科指定  |  |    |    |       |        |        |  |
| 日本史A(前近代)                                 |  | 単位   | 曜日 | 時限 | 教員名   | 時間割コード |        |  |
|   |  | 2  | 火  | 1  | 小林 一岳 | 135903 |        |  |
| 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。 | 教育目標   |  |    |    |       |        |        |  |
|   | 全学共通科目の教育目的である、世界に貢献する人として必要な基礎的且つ幅広い教養を身に付ける、に関する科目です(知識・理解)。最近中学・高校の歴史教育では、国際関係・国際交流が重視されるようになってきました。もう日本の歴史を日本列島だけで考えることはできません(思考・判断)。この授業では「アジアの中の日本史」というテーマで講義を行い、日本とそれを取り巻く国際社会について古代～中世を中心に歴史的に考えることにします。 |  |    |    |       |        |        |  |
|   | 学部・学科指定  |  |    |    |       |        |        |  |

|   |  |   |    |       |        |        |
|---|--|---|----|-------|--------|--------|
| 人文知探求科目群<br>(前期)                          | <b>東アジアの歴史と文化A</b>   | 単位  | 曜日 | 時限    | 教員名    | 時間割コード |
|   |  | 2   | 水  | 5     | 山本 陽子  | 136100 |
|   |  | 教育目標  |    |       |        |        |
|   | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。  | 「仏像の来た道」日本で仏像といえば誰でもああこんな感じという像が目に見て浮かんで来ます。その仏像、もとはインドからシルクロードや中国、朝鮮半島を伝わって来たものです。それぞれの国で仏像はどのように受け入れられ、どのように変化してきたのかを見てゆきます。 「歴史と文化を知り、創る」という教育目的に基づき、この時間では、仏教文化との関わりから、アジアの国々の美術を知り親しむことを目標とします。(知識・理解・表現)  |    |       |        |        |
|   |  | 学部・学科指定   |    |       |        |        |
|   | <b>西洋の歴史と文化A(古代・中世)</b>  | 単位  | 曜日 | 時限    | 教員名    | 時間割コード |
|   |  | 2   | 金  | 5     | 上田 耕造  | 136300 |
|   |  | 教育目標  |    |       |        |        |
|   | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。  | 本授業は、以下の教育目標を達成するための授業である。 1. 世界に貢献する人として必要な基礎的且つ幅広い教養を身に付け、知性、感情、意志、及び心と体のバランスのとれた人格を育み、総合的な思考力と的確な判断力を土台として、自立し、世界の人々と共生できる。 人、自ら積極的に学び考える、自己教育能力を持つ人となる。 2. 多様な価値観を受け入れることができる自立した市民に相応しい幅広い教養を修め、社会的倫理に従って自己を律しながら、多様なコミュニケーションの方法を用いて、修得した教養を社会のために役立てられる。 |    |       |        |        |
|   |  | 学部・学科指定   |    |       |        |        |
|   | <b>地理学で知る人間と社会</b>   | 単位  | 曜日 | 時限    | 教員名    | 時間割コード |
|   |  | 2   | 月  | 2     | 高橋 珠州彦 | 136500 |
|   | 教育目標   |   |    |       |        |        |
| 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。 | 人文地理学を基礎とする本授業では、生活文化から地域を考察することを目標とする。身近な知識や話題を題材とした実践的かつ体験的な学びを通じて知識を能動的に修得し、多様な価値観を受け入れることができる幅広い教養を修める。  |   |    |       |        |        |
|   | 学部・学科指定  |   |    |       |        |        |
| <b>教育学A</b>                               | 単位   | 曜日  | 時限 | 教員名   | 時間割コード |        |
|   | 2  | 月   | 2  | 大岡 ヨト | 136600 |        |
|   | 教育目標   |   |    |       |        |        |
| 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。 | 教育の意義や目的、人間の成長・発達と教育、現在の教育の諸課題に関する基礎的な内容について、理解することを目標とする。これらの基礎を理解した上で、教育の諸課題について多様な観点から考察を深める。   |   |    |       |        |        |
|   | 学部・学科指定  |   |    |       |        |        |
| <b>民俗学A</b>                               | 単位   | 曜日  | 時限 | 教員名   | 時間割コード |        |
|   | 2  | 火   | 5  | 田中 藤司 | 136800 |        |
|   | 教育目標   |   |    |       |        |        |
| 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。 | 今年度は、課題提示型の遠隔(非対面)授業です。毎回の課題に関連する授業書類(Word)がLMSコースコンテンツに掲載されます。動画配信はありません。  指定教科書の入手、Wordでのレポート作成、電子メールでの提出が必須です。  LMSに掲載の授業書類を参照し、教科書の予習にもとづいてレポートを作成し、添削コメント返却で復習します。  学術的価値をもつ論文作成スキルを身につけます。 |   |    |       |        |        |
|   | 学部・学科指定  |   |    |       |        |        |

|   |   |  |    |       |        |        |  |
|---|---|--|----|-------|--------|--------|--|
| 人文知探求科目群<br>(前期)  | 文化人類学A  | 単位   | 曜日 | 時限    | 教員名    | 時間割コード |  |
|   |   | 2  | 水  | 5     | 田中 藤司  | 137001 |  |
|   | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。   | 教育目標   |    |       |        |        |  |
|   |   | 課題提示型の遠隔(非対面)授業です。毎回の課題に関連する授業書類(Word)がLMSコースコンテンツに掲載されます。動画配信はありません。  身体文化研究を通して、レポート作成能力を身につけます。指定教科書の予習(毎週1章分)にもとづいて、毎回1000文字でいどのレポートを作成・提出します(Wordと電子メールを利用)。レポートは添削コメントをつけて返却されるので、ここで得たスキルを次回レポート作成で活かします。 |    |       |        |        |  |
|   |   | 学部・学科指定  |    |       |        |        |  |
|   | 文化人類学A  | 単位   | 曜日 | 時限    | 教員名    | 時間割コード |  |
|   |   | 2  | 火  | 3     | 田中 藤司  | 137002 |  |
|   | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。   | 教育目標   |    |       |        |        |  |
|   |   | 課題提示型の遠隔(非対面)授業です。毎回の課題に関連する授業書類(Word)がLMSコースコンテンツに掲載されます。動画配信はありません。  身体文化研究を通して、レポート作成能力を身につけます。指定教科書の予習(毎週1章分)にもとづいて、毎回1000文字でいどのレポートを作成・提出します(Wordと電子メールを利用)。レポートは添削コメントをつけて返却されるので、ここで得たスキルを次回レポート作成で活かします。 |    |       |        |        |  |
|   |   | 学部・学科指定  |    |       |        |        |  |
|   | 美術を読み解く   | 単位   | 曜日 | 時限    | 教員名    | 時間割コード |  |
|   |   | 2  | 金  | 3     | 山本 陽子  | 137200 |  |
|   | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。   | 教育目標   |    |       |        |        |  |
|   |   | この時間では「歴史と文化を知り、創る」という教育目的に基づき、西洋と異なる日本の美に対する感じ方を、1時間1テーマずつ取り上げて、そこから新たな美の見方を考えてみることを目標とします。(知識・理解・表現) 人が何を美しいと思うかは、必ずしも一様ではありません。ことに風土や生活習慣や宗教の異なる西洋と東洋、昔と現代ではずいぶん違うことも多いはずで。                                   |    |       |        |        |  |
|   |   | 学部・学科指定  |    |       |        |        |  |
|   | 図像学A  | 単位   | 曜日 | 時限    | 教員名    | 時間割コード |  |
|   |   | 2  | 金  | 5     | 山本 陽子  | 137300 |  |
|   | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。   | 教育目標   |    |       |        |        |  |
| 「歴史と文化を知り、創る」という教育目的に基づき、その作品が何を言いたいのかを知り、考える方法を身につけます。(知識・理解・表現) 美術作品の前に立ったとき、感動する以前に、この絵は何を意味するのだろうかと首をひねってしまうことはありませんか? 十字架のキリストだって、話を知らなければただの汚い死体にしか見えません。文化や宗教の違う国の作品や、日本でも古い時代の作品には知識がなければ意味がわからないものもあります。 |   |  |    |       |        |        |  |
| 学部・学科指定   |   |  |    |       |        |        |  |
| 美学A   | 単位  | 曜日   | 時限 | 教員名   | 時間割コード |        |  |
|   | 2   | 火  | 5  | 浜野 喬士 | 137500 |        |  |
| 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。   | 教育目標  |  |    |       |        |        |  |
|   | ・美学を学ぶことを通じて、広い視野から課題を分析し、現代社会の問題を把握する視座を身につける。 ・総合的な思考力と的確な判断力を身につける。世界に貢献する人として必要な基礎的且つ幅広い教養を身につける。 |  |    |       |        |        |  |
|   | 学部・学科指定   |  |    |       |        |        |  |

|   |   |  |  |    |       |        |        |
|---|---|--|--|----|-------|--------|--------|
| 人文知探求科目群（前期）                              | 日本の芸能A                                    |  | 単位   | 曜日 | 時限    | 教員名    | 時間割コード |
|   |   |  | 2  | 水  | 4     | 井上 愛   | 137900 |
|   | 教育目標                                      |  |  |    |       |        |        |
|   | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。 |  | 1、年中行事の背景を学ぶことで、様々な地域の舞踊・音楽・美術・工芸といった文化に対する知識を深められる(知識・理解)。 2、各地の民俗芸能・宗教行事への考察をおこなう(思考・判断)。 3、民俗芸能を通じて、外国からの影響を考えることで現代の日本文化についての理解を進め、発信できるようになる(関心・意欲・態度)。   |    |       |        |        |
|   | 学部・学科指定                                   |  |  |    |       |        |        |
|   | 言語学A                                      |  | 単位   | 曜日 | 時限    | 教員名    | 時間割コード |
|   |   |  | 2  | 木  | 2     | 藤原 愛   | 138100 |
|   | 教育目標                                      |  |  |    |       |        |        |
|   | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。 |  | 言語学という視点を通して、普段、我々が当たり前のように使っている「ことば」についての理解を深める。また、各テーマに毎に研究例を通じて、「ことば」の本質、ひいては「人間」の本質に迫るべく、客観的な視点と科学的分析で「ことば」に取り組む学者たちの熱い思いを理解する(知識・理解・表現)。学んだ知識をもとに、身の回りの「ことば」を分析的に見る力を養う(問題発見・解決)。「ことば」に興味を持ち、世界の「ことば」に目を向け、偏見や差別意識を抜きに「ことば」と向き合う(関心・意欲・態度)。                           |    |       |        |        |
|   | 学部・学科指定                                   |  |  |    |       |        |        |
|   | 外国の文学A(アジア)                               |  | 単位   | 曜日 | 時限    | 教員名    | 時間割コード |
|   |   |  | 2  | 金  | 1     | 吉川 榮一  | 138400 |
|   | 教育目標                                      |  |  |    |       |        |        |
|   | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。 |  | 本講義を通じて中国近代の歴史と文化の変遷の一端を学ぶことができます。 本講義では、中国近代文学の父とも言える魯迅(1881-1936)の生涯を辿りつつ、その作品を丹念に読み解くことで、魯迅が作品にこめていた思いがどのようなものであったのかを探っていきたくと考えています。 本学の「学位授与方針」の一つである「多様な価値観を受け入れることができる自立した市民に相応しい幅広い教養を修め、社会的倫理に従って自己を律しながら、多様なコミュニケーションの方法を用いて、修得した教養を社会のために役立てられる」人間になるための一助となります。 |    |       |        |        |
|   | 学部・学科指定                                   |  |  |    |       |        |        |
|   | 外国の文学B(欧米)                                |  | 単位   | 曜日 | 時限    | 教員名    | 時間割コード |
|   |   |  | 2  | 金  | 5     | 鶴田 涼子  | 138500 |
|   | 教育目標                                      |  |  |    |       |        |        |
| 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。 |   | 子どものころに読んだ本を、時間が経過したときにもう一度手にとってみると、当時とはことなる解釈の可能性が見えてくる経験は多くあります。当授業では、ヨーロッパの民間伝承・童話・文学作品を順に紹介します。物語の語り口を比較検討しながら、人物の内面の描かれ方などを分析するなかで、異文化を理解する素養を高めることを目標とします。(知識・理解・表現) |  |    |       |        |        |
| 学部・学科指定                                   |   |  |  |    |       |        |        |
| 日本の文学A                                    |   | 単位   | 曜日   | 時限 | 教員名   | 時間割コード |        |
|   |   | 2  | 金  | 1  | 疋田 雅昭 | 138600 |        |
| 教育目標                                      |   |  |  |    |       |        |        |
| 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。 |   | 最も好事家的な学問であると思われがちな文学を単なる教養ではなく、社会批評の学問として再認識する。「詩」や「物語」という概念を拡張し、社会の様々な物語の存在に気づくことが出来、かつそれらに批評的な視点を持つ方法を有する。 日本文学1 は 基本的な物語の読み方を講義する 日本文学2 は 物語読解を社会分析に応用する方法を講義する        |  |    |       |        |        |
| 学部・学科指定                                   |   |  |  |    |       |        |        |

|  |   |  |    |       |        |        |
|--|---|--|----|-------|--------|--------|
| 心<br>と<br>体<br>の<br>健<br>康<br>（<br>前<br>期<br>） | 心理学A  | 単位   | 曜日 | 時限    | 教員名    | 時間割コード |
|  |   | 2  | 火  | 3     | 梶原 直樹  | 139901 |
|  | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。   | 教育目標   |    |       |        |        |
|  |   | 心理学は、あいまいでとらえどころがないように感じられる「こころ」の問題を、科学的に解明しようとするものである。この授業では、そこで明らかにされたことを、 ・正確に理解し、説明できる(知識、理解)、 ・日常的・現実的な問題に応用できる(思考、判断)、 よくなることを目標とする。 |    |       |        |        |
|  |   | 学部・学科指定  |    |       |        |        |
|  | 心理学A  | 単位   | 曜日 | 時限    | 教員名    | 時間割コード |
|  |   | 2  | 火  | 4     | 梶原 直樹  | 139902 |
|  | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。   | 教育目標   |    |       |        |        |
|  |   | 心理学は、あいまいでとらえどころがないように感じられる「こころ」の問題を、科学的に解明しようとするものである。この授業では、そこで明らかにされたことを、 ・正確に理解し、説明できる(知識、理解)、 ・日常的・現実的な問題に応用できる(思考、判断)、 よくなることを目標とする。 |    |       |        |        |
|  |   | 学部・学科指定  |    |       |        |        |
| 心理学A   | 単位  | 曜日   | 時限 | 教員名   | 時間割コード |        |
|  | 2   | 火  | 5  | 梶原 直樹 | 139903 |        |
| 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。      | 教育目標  |  |    |       |        |        |
|  | 心理学は、あいまいでとらえどころがないように感じられる「こころ」の問題を、科学的に解明しようとするものである。この授業では、そこで明らかにされたことを、 ・正確に理解し、説明できる(知識、理解)、 ・日常的・現実的な問題に応用できる(思考、判断)、 よくなることを目標とする。  |  |    |       |        |        |
|  | 学部・学科指定   |  |    |       |        |        |
| 心理学A   | 単位  | 曜日   | 時限 | 教員名   | 時間割コード |        |
|  | 2   | 水  | 5  | 伊藤 教子 | 139904 |        |
| 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。      | 教育目標  |  |    |       |        |        |
|  | 1. 科学的な視点で、心理学の考え方、感覚、知覚、記憶、学習、思考、感情、動機づけについての基本的な知識を習得し、他者を理解する力を身につける(知識・理解) 2. 他者を理解する力を身につけることを通して、他者の視点、多様な視点から物事を考える力をつける(思考・判断) 3. 授業で取り上げるテーマと自分の専攻分野との関連を考え、心理学的視点や知識を活かす方法を考える(課題発見・解決) |  |    |       |        |        |
|  | 学部・学科指定   |  |    |       |        |        |
| 心理学A   | 単位  | 曜日   | 時限 | 教員名   | 時間割コード |        |
|  | 2   | 土  | 1  | 伊藤 教子 | 139905 |        |
| 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。      | 教育目標  |  |    |       |        |        |
|  | 1. 科学的な視点で、心理学の考え方、感覚、知覚、記憶、学習、思考、感情、動機づけについての基本的な知識を習得し、他者を理解する力を身につける(知識・理解) 2. 他者を理解する力を身につけることを通して、他者の視点、多様な視点から物事を考える力をつける(思考・判断) 3. 授業で取り上げるテーマと自分の専攻分野との関連を考え、心理学的視点や知識を活かす方法を考える(課題発見・解決) |  |    |       |        |        |
|  | 学部・学科指定   |  |    |       |        |        |

|  |   |  |             |       |        |        |
|--|---|--|-------------|-------|--------|--------|
| 心<br>と<br>体<br>の<br>健<br>康<br>(<br>前<br>期<br>) | 健康・スポーツ科学論  | 単位   | 曜日          | 時限    | 教員名    | 時間割コード |
|  |   | 2  | 木           | 1     | 渡邊 裕宣  | 139411 |
|  |   | 教育目標   |             |       |        |        |
|  | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。   | 本講は、現在の運動実施の有無に関わらず、健康かつ活力に溢れた生活を生涯を通して送るうえで必要不可欠なヒトの生理学的知見や健康に関する知見を習得・理解し、自身のみならず周囲の人々の健康に寄与できることを目的とする。 |             |       |        |        |
|  |   | 学部・学科指定  | 21S/T/A1/J5 |       |        |        |
|  | 健康・スポーツ科学論  | 単位   | 曜日          | 時限    | 教員名    | 時間割コード |
|  |   | 2  | 木           | 2     | 渡邊 裕宣  | 139412 |
|  |   | 教育目標   |             |       |        |        |
|  | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。   | 本講は、現在の運動実施の有無に関わらず、健康かつ活力に溢れた生活を生涯を通して送るうえで必要不可欠なヒトの生理学的知見や健康に関する知見を習得・理解し、自身のみならず周囲の人々の健康に寄与できることを目的とする。 |             |       |        |        |
|  |   | 学部・学科指定  | 21S/T/A1/J5 |       |        |        |
|  | 健康・スポーツ科学論  | 単位   | 曜日          | 時限    | 教員名    | 時間割コード |
|  |   | 2  | 水           | 1     | 佐藤 洋   | 139421 |
|  | 教育目標  |  |             |       |        |        |
| 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。      | 現代社会に生きるわれわれにとって、「健康」と「スポーツ」は、ともに大きな関心事として存在している。この講義では、「健康」と「スポーツ」を「科学」とはどのようなことか総合的に探求する。講義における学びを通して、「健康」や「スポーツ」に関するわれわれの常識を改めて捉え直すことを試みる。そして、人間が心身ともに健康に生きるとはどのようなことか考えていく(知識・理解・表現)。             |  |             |       |        |        |
|  | 学部・学科指定   | 21H/F  |             |       |        |        |
| 健康・スポーツ科学論                                     | 単位  | 曜日   | 時限          | 教員名   | 時間割コード |        |
|  | 2   | 水  | 2           | 佐藤 洋  | 139422 |        |
|  | 教育目標  |  |             |       |        |        |
| 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。      | 現代社会に生きるわれわれにとって、「健康」と「スポーツ」は、ともに大きな関心事として存在している。この講義では、「健康」と「スポーツ」を「科学」とはどのようなことか総合的に探求する。講義における学びを通して、「健康」や「スポーツ」に関するわれわれの常識を改めて捉え直すことを試みる。そして、人間が心身ともに健康に生きるとはどのようなことか考えていく(知識・理解・表現)。             |  |             |       |        |        |
|  | 学部・学科指定   | 21H/F  |             |       |        |        |
| 健康・スポーツ科学論                                     | 単位  | 曜日   | 時限          | 教員名   | 時間割コード |        |
|  | 2   | 火  | 1           | 茂泉 圭治 | 139431 |        |
|  | 教育目標  |  |             |       |        |        |
| 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。      | ①健康な日常を過ごす上で重要不可欠な運動のあり方、健康と運動についての基礎的な知識が身に付く(知識・理解) ②今まで、慣れ親しんだ「スポーツ」の側面から、スポーツや運動の目的、スポーツと健康との関わり、生涯スポーツについて理解を深めることができる(知識・理解) ③オリンピック、パラリンピックを通じてスポーツにおける様々な問題や障がい者スポーツについて関心に目を向けることができる(思考・判断) |  |             |       |        |        |
|  | 学部・学科指定   | 21E1/B1  |             |       |        |        |

|  |   |   |         |      |        |        |
|--|---|---|---------|------|--------|--------|
| 心<br>と<br>体<br>の<br>健<br>康<br>(<br>前<br>期<br>) | 健康・スポーツ科学論  | 単位  | 曜日      | 時限   | 教員名    | 時間割コード |
|  |   | 2   | 火       | 2    | 茂泉 圭治  | 139432 |
|  |   | 教育目標  |         |      |        |        |
|  | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。   | ①健康な日常を過ごす上で重要不可欠な運動のあり方、健康と運動についての基礎的な知識が身に付く(知識・理解) ②今まで、慣れ親しんだ「スポーツ」の側面から、スポーツや運動の目的、スポーツと健康との関わり、生涯スポーツについて理解を深めることができる(知識・理解) ③オリンピック、パラリンピックを通じてスポーツにおける様々な問題や障がい者スポーツについて関心に目を向けることができる(思考・判断) |         |      |        |        |
|  |   | 学部・学科指定   | 21E1/B1 |      |        |        |
|  | 健康・スポーツ科学論  | 単位  | 曜日      | 時限   | 教員名    | 時間割コード |
|  |   | 2   | 月       | 1    | 田中 愛   | 139441 |
|  |   | 教育目標  |         |      |        |        |
|  | 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。   | (1)生涯スポーツ、スポーツ科学、健康科学に関する基礎知識を身につける。(知識・理解) (2)健康やスポーツに関する偏った情報に流されず、それらを批判的に捉えることができる。(関心・意欲・態度) (3)講義やグループでのディスカッションを通して、自らの身体観やスポーツ観を振り返り、自分とは異なる視点からの意見に触れ、視野を広くもつことができる。(思考・判断)                  |         |      |        |        |
|  |   | 学部・学科指定   | 21P1/Z1 |      |        |        |
| 健康・スポーツ科学論                                     | 単位  | 曜日  | 時限      | 教員名  | 時間割コード |        |
|  | 2   | 月   | 2       | 田中 愛 | 139442 |        |
|  | 教育目標  |   |         |      |        |        |
| 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。      | (1)生涯スポーツ、スポーツ科学、健康科学に関する基礎知識を身につける。(知識・理解) (2)健康やスポーツに関する偏った情報に流されず、それらを批判的に捉えることができる。(関心・意欲・態度) (3)講義やグループでのディスカッションを通して、自らの身体観やスポーツ観を振り返り、自分とは異なる視点からの意見に触れ、視野を広くもつことができる。(思考・判断)                      |   |         |      |        |        |
|  | 学部・学科指定   | 21P1/Z1   |         |      |        |        |
| 現代スポーツ論  | 単位  | 曜日  | 時限      | 教員名  | 時間割コード |        |
|  | 2   | 水   | 5       | 佐藤 洋 | 139700 |        |
|  | 教育目標  |   |         |      |        |        |
| 【対面・非対面】等の授業実施形態については、「勉天」上のシラバスを確認して下さい。      | 近代スポーツは政治・経済・社会情勢と密接に関わり変化してきた。われわれはメディアを通じて近代スポーツの華やかな表舞台を知ることができるが、その裏には様々な社会的問題を抱えていることどのくらい自覚的だろうか。 本講義では現代社会におけるスポーツという文化の機能・役割を理解すること、そして学生が客観的且つ俯瞰的にスポーツを取り巻く「現在(イマ)」を考える力を養うことを教育目標とする(知識・理解・表現)。 |   |         |      |        |        |
|  | 学部・学科指定   | 21  |         |      |        |        |